

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	高岡市きずな子ども発達支援センター（児童発達支援事業）
------	-----------------------------

公表日 R8年 3月 3日

利用児童数 R7年 11月 1日 回収数 47

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	4	3	0	・プレイルームでは、走り回るのは、別のクラスもいると狭いと感じる。 ・個別の場合は狭さを感じなかったが、集団に変わって人数が増えると狭く感じる時がある。 ・少し狭く感じる。天候を見て、外での活動もできるとよい。 ・スペースは十分に確保されているため、職員を増員してこどもの受け入れ人数を少し増やしても良いのではと考える。 ・部屋での活動で、子供5人(親入れて10人)はちょっと狭いです。	・活動内容や人数、年齢に合わせ、保育室やプレイルーム、園庭、廊下などを使用し、安全に活動できるように努めています。 ・保育室の環境設定を行う際、机をアーチ状に配置したり一つの机を二人掛けにしたりするなど工夫しながら活動スペースを確保できるよう努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	5	1	1	・特に補助が必要な子どもにきちんと加配されていると思う。 ・保護者の協力がないと、成り立っていないと感じる時がある。 ・こども5人に保育士2人なので手厚いです。ただ手のかかる子に保育士1人つききりになるようであればやや少ないと感じます。特性によるのでしょうか… ・手厚いと思います。	・国が決めた配置基準（子ども5人：保育士1人）を満たしています。 ・個別対応については、指導前後に担当者間で支援方法について話し合い、一人一人のお子様に適切に対応できるよう日々努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	42	3	0	2	・現在通っている子どもの程度であれば問題がないと思う。 ・1階と2階のフロアが分かれているが、玄関が同じであり、こどもが今日はどちらに行けば良いか混乱することがある。 ・保護者と離れてこどもがどのような態度で支援に取り組んでいるのかを見せてもらえる場があるが、ただ廊下で見ているだけだとこどもに気付かれてしまう。 ・教室の棚の中やその上を出ればもう少しスッキリさせれるといいのでは、と思いました。（布等で隠してはあるのですが） ・職員の方が試行錯誤して子供が取り組みやすい環境を作ってくださっているのを感じます。	・スケジュールボードや絵カードで情報を可視化することで、お子様にとって分かりやすい環境構成や伝え方を心がけています。 ・保護者の方に廊下からお子様の様子を見ていただく際は、ねらいや配慮事項を分かりやすくお伝えできるよう心掛けていきます。 ・室内の整理整頓を心掛け、お子様が心地よい環境で過ごせるよう努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	8	0	1	・こまめに整頓されていると思う。 ・水道について、夏場は問題ないが、冬場はかなり冷たいため、子供が手洗いを嫌がる。 ・教室や廊下はきれいなのですが、遊戯室のジャングルジムの下にごみが溜まっていたり血痕が残っていることが気になります。	・保育室内やプレイルームなど、遊具の点検、整備を随時行っています。今後とも、お子様が心地良く過ごせるよう環境整備に努めています。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	15	1	2	・今の時点で成果が目に見えてないから子どもについては理解はされているのかもしれないが、親に対してこういう特性に対してはこういうアプローチでどういうことを目標としているのかという説明がされていたとしても親が理解できていないまま進んでいるように思う。 ・3名1組で療育を受けているが、障害レベル、障害内容が違っており今のやり方がベストかどうか分からない。 ・丁寧ではあるが、あまり強い専門性は感じられない。 ・外来保育に通ってからで始めたこともあるので、そう思います。 ・この活動ではどういう目的で何を目指しているのかということが保護者に伝わっていない事があると感じる。説明されて初めてわかる事もある。 ・こどものために優しく話しかけてくださっているのだと思いますが、先生の声が小さく私も聞き取りにくい場面が度々あります。コミュニケーションがとりにくい息子にはもう少し指示が通るように抑揚をつけてはきはき話しかけてくださるとありがたいと思います。	・活動の意図が保護者の方にうまく伝わっていなかった点については、活動のねらい、関わり方のポイントなど分かりやすくお伝えし、ご理解いただけるよう努めてまいります。しかし、状況によって、お伝えする時間が取りにくい場合もございます。指導室の前方に活動のねらいを掲示していますので、そちらも併せてご確認ください。 ・グループ指導の中で、提供される活動内容が同じであっても、一人一人が達成感を得られるように、視覚支援やタイミングを見計らって声を掛けるなど、その子に合った支援を心掛けています。 ・職員はセンター内外の研修を通して自己研鑽に努め、皆様に満足していただけるサービス提供に努めてまいります。療育の中で、お気づきの点やご不明な点などございましたら遠慮なくお声がけ下さい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	3	0	7	・支援プログラムってなにかわからない。	・当センターのホームページに事業ごとの支援プログラムが掲載してありますので、ご確認ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	3	0	1	・始まったばかりなので、まだわかりません。 ・通園する前にいっぱい契約書を書いたが内容はありきたりでお役所仕事な感じがする。 ・説明はしてもらっているが、親がよくわかっていないところがある。	・一人一人のお子様の課題や保護者の方のニーズを聞き取り、客観的に分析して個別支援計画を作成しております。計画について、ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ねください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	2	0	11	・子どものことはきちんと考えられていると思う。 ・この3個の支援内容は見た事が無いと思う。 ・仕事、家庭、家族の環境で母親ができることは限られており、今できる事をやっているつもりではあるが、それが果たして子供の為になっているのか分かりません。	・個別支援計画書に記載の支援目標や支援内容は、「本人支援（健康・生活／運動・感覚／認知・行動／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性）」「家族支援」「移行支援」の項目に分類されています。開示の際に保護者の方に分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。 ・活動や個別相談を通して、家庭でも実践可能な支援の提案に努めておりますが、実践される中で悩まれたり疑問に感じられたりすることがございましたら、遠慮なくご相談ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39	6	1	1	・グループでの活動になると全てがその子供に沿った支援になるわけではないと思う(当然であると思うが)。	・活動内容は、お子様の興味や発達段階に応じて設定しています。お子様が達成感を得られるよう、視覚支援を用いて情報伝達の工夫をし、個別に応じた対応に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	4	2	8	・毎回違う内容だから固定されていないと思う。 ・毎回同じ流れの繰り返しで、本人が慣れてしまい、支援を受けにくいている意味があるのかと思う時がときどきあります。 ・活動自体は(ゲーム、制作、かみしばい)などは毎回同じだが、活動の内容や1日のスケジュールは少しずつ違うので。毎回全く新しい事をするより似たようなことを繰り返す方が安心する子もいるので、どうすべきかは難しいところだと思う。	・外来保育では、お子様が見通しを持ち安心して活動に取り組めるよう、固定的なスケジュールを設定しています。成功体験を重ねて自信をつけてきた段階で、活動内容のバリエーションを広げ、お子様の挑戦意欲を育ていけるよう支援しています。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	33	2	7	5	・外来保育のため、基本的には通っている園があります。	・外来保育利用のお子様は在籍園で地域のお子さんと交流する機会がありますので、センターは実施しておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	2	0	0		・今後も分かりやすく、丁寧な説明を心掛け、保護者にご理解いただけるよう努めてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47	0	0	0		・記載されている支援内容やねらいを分かりやすく具体的にお知らせできるよう今後も努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	41	1	0	5	・ペアレントトレーニングに何回も行くことができない。1回だけとかにしてほしい。 ・締切が早いのでもう少しゆとりを持って案内してほしい。 ・仕事で参加できないと諦めることもあり、オンライン配信、アーカイブなどあれば嬉しい。 ・働いていると参加しづらい開催日程だと思いました。	・受講希望者を対象に、年間3クール、（1クール、全6回コース）でグループペアレント・トレーニングを実施しています。受講者の皆さんが主体的に参加され、日々の生活の中でも実践してくださったようで嬉しく思います。お子様の行動を保護者の方と一緒に分析し、望ましい関わり方を共に考え、生活に反映できるようサポートしてまいります。次年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	10	4	3	・共通理解まではできていないと思う。 ・そんな時間が設けられているとは思わない。 ・毎回話を聞いてもらって意見をもらっています。 ・保護者から先生に相談するタイミングがあまりなく、先生との雑談時に少しだけ話す程度なため。	・発達状況については、個別指導時は随時、グループ指導では年3回実施の「個別相談」で保護者の方とお子様の情報を共有させていただいております。子育てについての悩みや相談がございましたら、相談日以外でも遠慮なく職員にお声がけください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	8	2	2	・定期的とは？ ・改まった場での面接は半年に一度しかなく、時間をとって相談できず、アドバイスも得られ難い。 ・個別面談は半年に1回はあるが、子どもと離れて相談できる時間はないと思う。	・年3回個別相談日を設け、家庭での子育ての悩みや園での姿をお聞かせいただいております。必要があれば個別相談日以外にもお話できる時間を設定しますので、お気軽にお声がけください。また、面談では必要に応じてお子様と分離するなど配慮をさせていただきます。ご要望がございましたら遠慮なく職員にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	6	0	0	・ありきたりだが「子供はそんなもんです、よくありますよ」「できなくてもいいんです」と言ってもらえて少し気持ちが楽になった(日頃ワンオペで身近に話を聞いてくれる人がいないため)。場合によっては表面的な回答しかなかったと感じる人もいるかもしれないが。	・お子様について悩みや相談がございましたら、遠慮なく職員にお声がけください。保護者の方と一緒に手立てや支援方法を考えていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1	5	30	・そのような支援があるのは知らなかったです。	・外来保育では父母の会や保護者会は組織されておりません。 ・情報交換や情報共有ができる場を希望される方は、センター研修棟で開催しております保護者サロンをご利用ください。開催日程はパンフレットやホームページでお知らせしております。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	1	17	・相談したいがするタイミングがわからない。	・個別相談日を取り入れ、保護者の皆様と子育ての悩みや課題を共有する場をお一人につき年3回設けております。また保護者の方からご要望があれば別途相談の場を設けさせていただきます。相談日ではなくても遠慮なく担当者にお声がけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	6	1	8	・他のこどもや保護者がいる中での聞き取りはしてほしくない。	・お子様や他の保護者の方と分離して聞き取りを希望される場合は、事前に担当者にお知らせください。プライバシーの配慮に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	5	29	・外来保育実施日のお知らせ、診察の予約、各種お知らせなど、もっと電子化されるとよい。	・公的評価の結果については、センターのホームページで公表しております。 ・外来保育の日程につきましては、現在毎月1日以降に翌月の日程をお知らせする形をとっております。多くの方がセンターを利用されている点と個人情報保護の観点から、現状電子化の対応が難しいことをご理解ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	2	1	7	・大勢がいるなかでの相談員の聞き取りやモニタリングはしてほしくない。こどもを見守りながらの聞き取りは保護者側が集中できない。	・個人情報が含まれていますので、モニタリングを行う際は場所を変え、保護者の方に確認をとりながら進めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	5	16		・契約時に、緊急時の対応や防災についてお知らせしております。センターでは各マニュアルに沿って避難訓練を毎月実施しています。実際に災害が起こった際は、皆様が安全に避難できるよう職員が誘導いたします。災害マニュアルは、事務所前の掲示板に掲示してありますのでご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	4	22	・訓練の場に参加したことはない。	・毎月様々な災害を想定して避難訓練を実施しています。実施後は振り返りを行い、翌月以降の訓練に活かしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	4	2	12	・事故等が発生したことがないので分からない。 ・通ってる中で事故が発生したことがまだないので。	・契約時に、緊急時の対応や防災などの安全計画についてお知らせしております。また、月に2回、施設の室内外の点検を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	2	26		・職員間であらゆる事故を想定して、対応シミュレーションを実施しております。有事の際は、迅速に対応できるよう努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	42	4	0	1	・いつも行くのを楽しみにしています。	・今後もお子様や保護者の方が安心して利用していただけるよう、職員は専門性を高め、日々研鑽に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	3	1	7	・先生が好きな様子です。	・今後もお子様の興味・関心や一人一人の発達段階に合わせた療育を心がけていきます。

	29	事業所の支援に満足していますか。	31	12	1	3	・成果がまだわからないから。行っていて意味があるのかわからないから。 ・プレイルームに鉄棒おいてほしい。 ・入所前の相談時から実際に外来保育が始まるまで期間があきすぎる。 ・入所前の家庭や園での様子の聞き取りについて、丁寧に聞いてもらえるが、同じようなことを何回もいろんな人に話した記憶がある。情報共有してもらいたい。園との情報共有に同意している場合は、園の先生と直接やりとりしてもらってもよい。 ・外来保育実施日、もう少し早くわかるようになってほしい。 ・療育開始までの待機が長いので、おそらくその間、親御さんはとても不安に思います。療育の様子を体感するため、待機期間の間に一度でも療育体験などをもしさせていただけると、少し不安の解消になるのでは、と思います。（なるほどこういうことをやるのだなぁと少し見通しが立つ） ・個別療育は、もう少し内容にバリエーションがあっても良いのかなと感じるときがあります。 ・本人は楽しんでいるし、少しずつ目標としていることができるようになっていくが、正直普通の園の活動とそこまで変わらないかなと思うこともある。 療育を受けているから成長したのか、時間経過により成長したからなのかピンとこないこともある。 ・療育の頻度がもう少し増えるといいのですが。	・療育のニーズが高まっている中、サービス開始まで時間をいただく場合があります。待機期間に面談を行うことや保護者サロンを利用することもできますので、お声がけください。 ・お子様の様子や家庭の状況については、相談員や療育担当職員などが定期的に聞き取りを行っております。情報については共有をしておりますが、それぞれの部署ごとでのアセスメントが必須となっておりますので、ご理解をお願いいたします。 ・在籍園との情報共有に関しては、個人情報保護の観点から保護者の方のご要望を確認してから進めております。ご希望の方は遠慮なく担当者にお声がけください。 ・外来保育の利用回数については、療育を必要とする皆様に公平に利用していただくため、基本的に月2～3回の利用頻度で設定しております。その中で、保護者の方のニーズやお子様の発達段階に合わせて活動内容を工夫し、よりよい療育を行ってまいります。 ・外来保育実施日は、前月の1日以降からお知らせしております。外来保育指導日に限らず、お電話でも承っております。 ・今後もお子様や保護者の方が、満足してセンターを利用していただけるよう、バリエーションを広げ、活動内容や遊びの環境を職員間で話し合い、お子様一人一人に沿った支援を提供できるよう努めてまいります。
--	----	------------------	----	----	---	---	--	--